

STAND UP TAKE ACTION

AGAINST POVERTY AND FOR THE MILLENNIUM DEVELOPMENT GOALS



STAND UP TAKE ACTION とは...

スタンド・アップは、参加者が貧困解決を求める意志を示すために「立ち上がり」(STAND UP)、身近なところから行動する(TAKE ACTION)ことを呼びかけるキャンペーンです。2006年から世界中で始まり、世界反貧困デー(10月17日)が制定されている10月に、貧困問題解決、ミレニアム開発目標(MDGs)達成に向けて行動するよう人々に呼びかけます。参加者(貧困解決の意志を示していれば、座っていても構いません)の写真をウェブサイトに登録し、ひとつの「声」を作り、日本では「動く→動かす」が集計し、日本政府や国会議員などに人々の想いを届けています。2013年は日本全国から3万2600人が立ち上がり、外務大臣政務官などに結果を報告して声を届けました。

国連ミレニアム開発目標(MDGs)とは...

ミレニアム開発目標(MDGs: Millennium Development Goals)は、「極度の貧困」に苦しむ人々の半減など具体的な数値目標と、2015年という達成期限を定めた国際的な開発目標です。2000年9月に開かれた国連ミレニアム・サミットを経て誕生しました。以前の経済成長と産業政策に焦点をあてた途上国支援は、貧困層の増加や格差の拡大など深刻な影響をおよぼしました。一方ミレニアム開発目標では、人間とその生活を中心に据えた支援に重点が置かれています。またMDGsには、貧困解消のために世界が一丸となって取り組むことを、世界のリーダーたちが人類史上はじめて約束したという大きな意義もあります。(裏面にMDGsの代表的ターゲットの現状を記載しています。)別添(ウェブサイト上では別ファイル)の「MDGs ミニ説明の解説」もご覧ください

今年が最後のキャンペーン、ぜひご参加下さい。 <http://www.standup2015.jp>



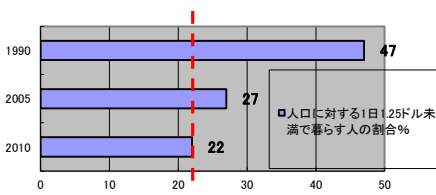
*達成目標は破線で示されています

*Goal 1~7はMDGsの21のターゲットの一部で、途上国のデータです。Goal 8は先進国のデータです。

Goal 1 極度の貧困と飢えをなくす

ターゲット1-A: 2015年までに1日1.25ドル未満で生活する人の割合を1990年の水準の半分ににする

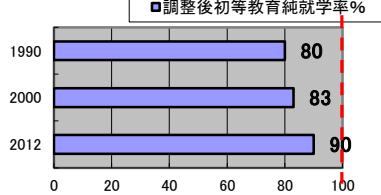
達成!!



Goal 2 みんなが小学校に通えるようにする

ターゲット2-A: 2015年までにすべての子どもが初等教育の全課程を修了できるようにする

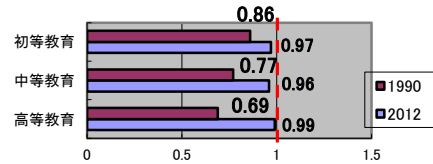
90%



Goal 3 ジェンダー平等と女性の地位を向上

ターゲット3-A: 2015年までにすべての教育レベルで男女格差を解消する

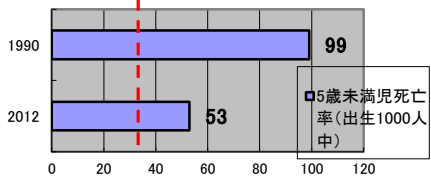
ほぼ達成!!



Goal 4 子どもの死亡率を下げる

ターゲット4-A: 2015年までに5歳未満児の死亡率を1990年の3分の1に減らす

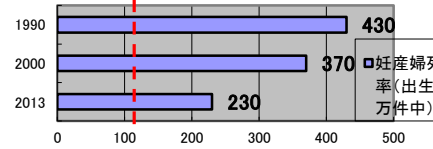
69.6%



Goal 5 安心・安全な妊娠・出産の実現を

ターゲット5-A: 2015年までに妊産婦の死亡率を1990年の4分の1に減らす

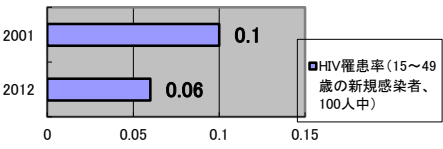
71.3%



Goal 6 感染症の広がりを防ぐ

ターゲット6-A: 2015年までにHIV/エイズのまん延を阻止し、その後、減少させる

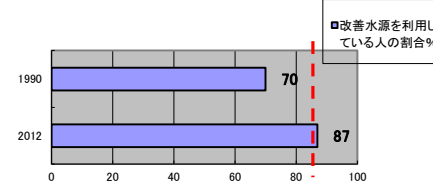
阻止できません



Goal 7 環境の持続可能性を確保する

ターゲット7-C: 2015年までに安全な飲料水と衛生施設を継続的に利用できない人々の割合を半減する

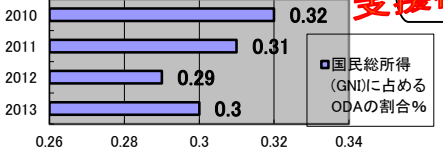
水は達成!!



Goal 8 先進国「も」責任を果たす

開発援助委員会メンバー国の援助

最貧国支援後退



開発援助委員会(DAC)は、日本など先進国が加盟する国際機関OECD(経済協力開発機構)の中にある委員会です。2013年、DACのODA額合計は過去最大を記録しましたが、最貧国への支援はGNI比0.09と、2008年以来最低でした。